

文京区版
幼児教育・保育カリキュラム



男女協働子育て支援部・教育推進部

基本方針

文京区においては、幼児期の質の高い幼児教育・保育を実現するために、区立幼稚園、区立保育園統一の『幼児教育・保育カリキュラム』を策定することにした。内容としては、生きる力の基礎の育成を「軸」に据えた、子どもの発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育・保育の充実を目的としている。

これまでも幼稚園は幼稚園教育要領に、保育園は保育所保育指針に基づいた幼児教育・保育を展開してきた。さらに平成20年3月の大幅な改定により、3歳児から5歳児の教育に関する内容の整合性が図られた。しかし、統一されたカリキュラムがないことで、幼稚園と保育園で行われている教育内容に違いがあるかのように伝わっているのが現状である。そこで、新たに『文京区版幼児教育・保育カリキュラム』をここに定めることとする。

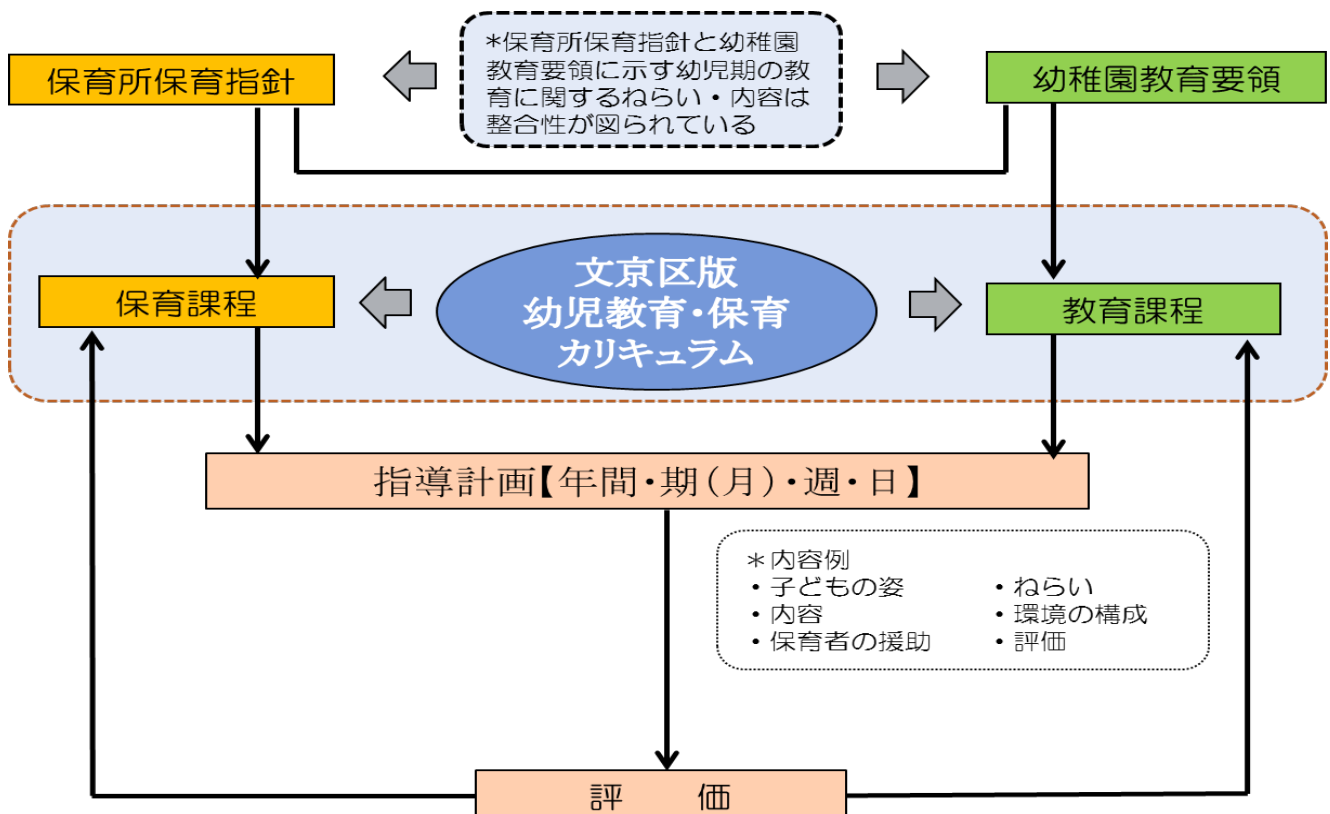
《幼児期の教育・保育の重要性について》

- ▶ 幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる極めて重要な時期である。
- ▶ 幼児期の子どもは生活や遊びにおける直接的・具体的な体験を通して、情緒的・知的な発達や社会性を獲得していく。

《生きる力の基礎を培う就学前教育の充実》

- ▶ 区立幼稚園、区立保育園において質の高い幼児教育・保育の提供
- ▶ 小学校教育との接続を踏まえた「生きる力の基礎の育成」

このカリキュラムを策定することにより、区立幼稚園、区立保育園で、質の高い幼児教育・保育を提供し、小学校教育との接続を踏まえた、生きる力の基礎の育成を目指す。また、各園において教育課程、保育課程を編成する際に活用することも可能である。





基本的な考え方

文京区は歴史と文化と緑に生まれ、文学・教育が息づく“文の京”として、歴史を今に未来につなげ、地域が一体となり子どもを育む支援を実施している。一人一人が自分らしく輝くことで“文の京”の魅力をさらに高め、すべての区民が“住んでよかった”“これからも住み続けたい”と実感するまちづくりを目指している。さらに、明治9年に日本で初めて開園し、倉橋惣三により保育が確立された東京女子師範学校（現お茶の水女子大学）附属幼稚園や明治20年に開園した文京区立第一幼稚園、伝統ある大学や学校のある「文教の地」としても知られている。

近年、家庭や地域において、子どもが兄弟姉妹や近隣の子どもとかかわる機会や、心と体を動かして夢中で遊びこむ機会が減少しているとの指摘がある。このことを踏まえると、幼稚園・保育園において、同年齢や異年齢の子ども同士が互いにかかわり合い、生活することの意義は大きい。子どもは遊びを通して思考力や想像力を養い、遊びこむことによって達成感や満足感を味わい、疑問や葛藤を経験し、自発的に周りの環境にかかわる意欲や態度が育っていくのである。

このカリキュラムは、東京都が平成25年に発行した就学前教育カリキュラムを基に、幼稚園教育要領、保育所保育指針が示す領域を踏まえ、生きる力の基礎（学びの芽生え・人とかかわり・生活する力）の育成に向け、その目標を適切かつ具体的に達成するための事項を経験させたい内容としてまとめた。各幼稚園・保育園の幼児教育・保育において大切にしたいことは下記のとおりである。

< 3歳児 >

保育者とのより良い信頼関係を育んでいくことを基盤にし、あるがままの姿を受け入れながら一人一人の子ども理解を大切にしたい時期である。生活のあらゆる場面で、機会をとらえて、個々の良さ、頑張りを言葉で認め、信頼関係を大事にしながら自己発揮出来る場を設け、集団の中でその子どもなりの力を発揮出来る環境を整える事が大切である。また、自分の思いを様々な形で出していけるようにしながらも、相手の気持ちにも気付けるように保育者が友達関係の仲立ちをする事も大切である。

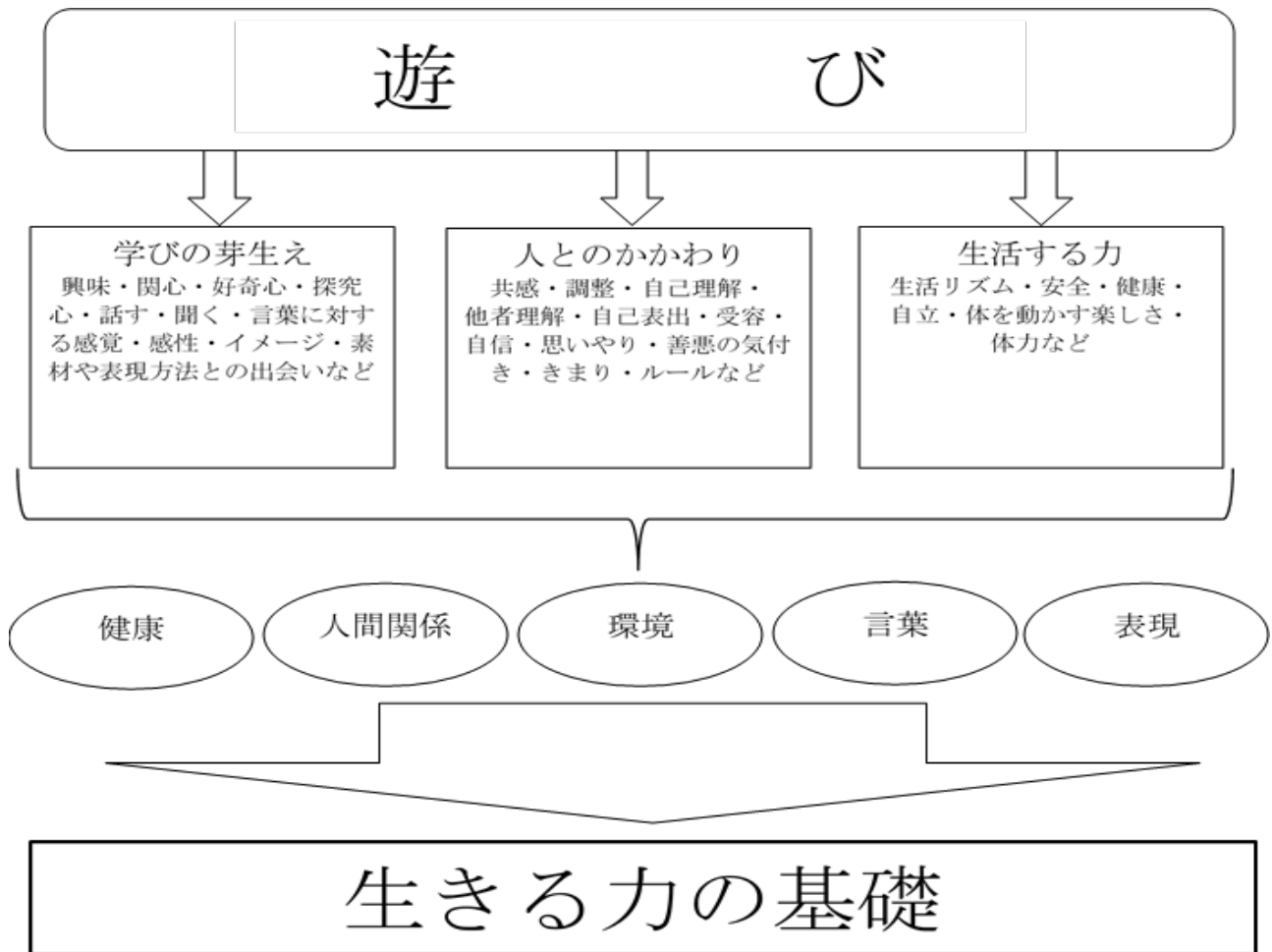
< 4歳児 >

友達が存在が大きくなっていくので、一人一人の子どもの理解を深めると共に、友達とかかわりや関係性を育むことを大切にしていく。意欲を持って行動しようとする姿を見逃さず、その都度認め、共感し、自己主張する時と気持ちを抑える時のコントロールが出来るように援助しながら、その様子をクラスで共有し、励みや刺激となるようにしていく。また、異年齢との交流などを通し、遊ぶ楽しさやルールを知らせるとともに子ども同士の関係をつなぎ、優しさ、思いやり、かかわりの大切さなどに気付ける働きかけをする事も大切である。

< 5歳児 >

3歳児・4歳児の育ちを土台にしながら遊びの中での幼児の学びの芽生えを理解し、小学校教育への見通しを持ってその芽生えを育むことが大切である。仲間としての連帯感が感じられるように、子ども同士の関係をつなぐことや、自分たちで考えたり、決めたり物事を進めたりする経験、共通の目的や課題に向って取り組む姿勢や生活や遊びの中で問題を解決する力、他者との関係の中で自己調整する力などを育んでいく。また、保育者は子ども一人一人の持っている力や感じ方、思いはそれぞれであることを具体的に知らせながら、一人一人が自信を持って生活出来るように子どもの気持ちを理解し、共感しながら励ましていくことが大切である。

○発達をめやすをもとに各時期のねらいを明確にし、経験させたい内容を「学びの芽生え」「人とのかかわり」「生活する力」の3つに分けた。ただし、幼児の遊びや活動は総合的に行われるので、このように要素をはっきりと分けきれものではなく、3つの経験させたい内容もひとつのめやすに過ぎない。



幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものです。そこで区立の幼稚園や保育園では、下記のような力を育てていきます。

- ・健康な心と体を育てます。
- ・人とかかわる力や思いやる心を育てます。
- ・興味を持って取り組む力、頑張る力を育てます。
- ・聞く力、話す力を育てます。
- ・伸び伸びと表現する力を育てます。

*保護者向けリーフレットより抜粋



活用マニュアル

- 各学年とも発達のためやすとして、「発達の特徴」を示した上で「育てたい内容」「配慮事項」「家庭との連携」の3項目から記述してある。個人差や各園の環境により、幼児の姿に違いがあり、幼児一人ひとりの発達の特徴と発育の個人差に留意し、丁寧な対応をすることを基本としつつ、各学年で大事にしたい点を記述したので参考にしていきたい。
- 3歳児、4歳児、5歳児とも、幼児の成長の節目が見られる時期で期を分けた。3歳児は保育園の進級児と、新たに入園した幼児で姿に違いがあるので、I期を進級児と新入児に分けている。
- 「午睡」など、保育時間の違いにより、幼稚園と保育園で取り組みが異なる保育内容もあるが、幼稚園と保育園の統一版のカリキュラムを策定したため、そのまま表記している。

ねらいを基に、各園で遊びや活動を選び、環境や援助を工夫して、その時期のねらいが達成されるようにしていく必要がある。日々の保育を実践し、ねらいが達成されたかを振り返り、反省・評価して翌日の指導に生かしていくことが大切である。

「経験させたい内容」を実践していくにあたっては、幼児が自ら選んで行う遊びを大切に、幼児の発想や主体的な動きを生かしていく。また、クラス全体の幼児に長いスパンの中で経験させていく活動、全体で一斉に行う活動、グループで行う活動など、幼児の発達に応じて様々な活動を取り入れていくことが望ましいと考える。そして、遊びの中で楽しんだことが次の活動につながり、楽しかった行事を生かして遊びも広がるようにしていくなど、遊びと行事、活動が相互につながるようにしていくことが大切である。

ね ら い	5歳児 I期 (4月～5月中旬)
	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境にかかわり自分なり ・クラスのつながりを感じながら、 ・年長になった喜びや自覚を持つ
学 生 の 芽 生 え の 基 礎	経験させたい内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境にかかわり、目 ・新しい場や遊具・用具の使 ・散歩や園外保育に出かけ、 する。 ・身近な春の自然に触れ、美 する。 ・保育者の言葉をよく聞き、 ・友達の言うことを聞いて受 としたりする。 ・友達と思いや考えを出し合 ・進んで保育者や友達に挨拶 ・年下の子の気持ちを考えな ・聞いていて心地よい言葉や ・様々な素材や遊具を使い、



- 本カリキュラムを実践するにあたっては、幼児の育ちをみんなで話し合い、共によりよい環境をつくり、協力し合って育てようとする職員のチームワークが大切である。各幼稚園、保育園の実態に即して作成される指導計画の立案・振り返りの羅針盤として、本カリキュラムを活用していただければ幸いである。

3歳児の発達のため

<p>発達の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活（食事、排泄、衣服の着脱など）がほぼ自分で出来るようになる。 話し言葉が豊かになり、会話を楽しむようになる。 自分の思いを主張しながらも友達と同じ場所で遊んだり簡単な集団での遊びを楽しんだりするようになる。 自分を中心に考える時期でもある。 基本的な運動機能が発達する。 		
<p>育てたい内容</p>	<p>前期</p> <p>《新入児》</p> <ul style="list-style-type: none"> 園の中で安心して過ごす。 身近な春の自然に目を向け、見たり触れたりして遊ぶ。 保育者に受け止めてもらう安心感を持つ。 保育者や友達と挨拶する気持ちよさを感じる。 <p>《進級児》</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい保育室や保育者に親しみをもち、安心して過ごす。 身近な草花や小動物など自然物に興味を持ってかかわり、触れたり集めたり並べたりする。 身近な人と挨拶する楽しさを感じ、自分から挨拶しようとする。 身近な事物に関心をもち、触れて遊ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> 絵本や紙芝居を繰り返し見たり、聞いたりすることを楽しむ。 動物や乗り物など身近なものになって表現したり、手遊びやリズム遊びを楽しんだりする。 保育者や友達と一緒に身体を動かして遊ぶことを楽しむ。 <ul style="list-style-type: none"> やりたい遊びや好きな場を見つけて遊ぶ。 したいこと、してほしいことを保育者や友達に言葉で伝える。 友達と同じ場で過ごしたり、触れ合ったりすることを楽しむ。 身の回りのことを自分でやってみようとし、出来た時は喜ぶ。 安全な遊び方やみんなで気持ち良く過ごすための約束を知り、守ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分から遊びを見つけて遊ぶ。 遊びや生活の中で必要な言葉に気付き、使う。 自分の思ったことや感じたことを言葉や行動などで自分なりに表現しようとする。 保育者や友達と一緒に遊んだり、活動したりすることを喜ぶ。 遊具や用具の貸し借りや、交代すること、順番を待つことを経験することを通して、楽しく遊べることを知る。 <ul style="list-style-type: none"> 楽しい雰囲気の中で、落ち着いて食べ物を食べる。 	<p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近なものに触れ、見立てたり偶然出来たもので遊んだりすることで、物の感触や形、使い方などに興味を持つ。 生活や遊びの中で数や量などの違いに気付き、興味を持つ。 親しみを持って保育者の話を聞いたり、困ったことや、してほしいことを言葉で伝えたりする。 絵本や紙芝居を繰り返し見たり聞いたりすることを楽しむ。 身近な素材や用具を使って、伸び伸びと描いたり作ったりして楽しむ。 保育者や友達と使う物を一緒に運んだり、片付けをしたりする。 身近な様々な人と触れ合うことを喜ぶ。 生活や遊びの中で、みんなが楽しく安全に過ごすための決まりを知り、守ろうとする。 身の回りの清潔や衣服の着脱、食事、排泄など、生活に必要なことを自分で言い、出来るようになったうれしさを感じる。 身近な遊具や用具などを使い、様々な運動遊びを楽しむ。
<p>配慮事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> 怪我・事故の予防の為に、子どもの目線で、動線を考えて遊具などの点検や配置を行う。 新しい環境に慣れていけるよう、家庭と連携をとり、個人差に配慮した援助を行う。 一人一人の気持ちをしっかりと受け止めていく。 生活の流れが視覚的に分かるよう具体的に知らせ、安心して過ごせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の前―後、表―裏、上―下が分かり着脱する、たたむ、揃えるなど、時間はかかるが出来るが増えるので、急がせず、余裕を持って見守りながら、出来ないところを援助していく。 家庭では体験出来ない遊びを十分にしめるように、季節に応じた環境をつくる。 自分でやろうとする気持ちを大切に、意欲的に遊ぼうとする姿を引き出していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣が確立出来るよう、個々に応じて丁寧に援助を行う。 身の回りのことが出来るようになって、時々おろそかになることもあるので、確認したり、声かけをしたりして、きちんと行えるよう援助する。 身の回りのことが手順良くできているか、段取り良くできているかを確認し、子どもに考えさせたり気付かせたりしていく。 気温の変化に合わせて衣服の調節をしたり、生活の中で見通しをもってトイレに行ったりなど、自分で考えて行動出来るように気付かせていく。 集団の物と自分の物を区別し、みんなで使う物を大切にしたり、決まった場所に片付けたり、使いやすく整理したり出来るよう、育てていく。
<p>家庭との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> 進級時の高揚・不安など、様々な気持ちを受け止めながら、新しい環境の中で安心して自己表出が出来るよう、家庭との連絡を密にしていく。 保護者一人一人に話しかけ、コミュニケーションを大切に信頼関係を築いていく。 保護者の不安や心配ごとを受け止め、早急に対処し、解決出来るように努める。 		<ul style="list-style-type: none"> 園でできている生活習慣を家庭に伝えたり、家庭でのよう子を聞いたりして、園と家庭で協力し合っていく。 家庭でも、家族の一員として家事の一つを分担させるなど（靴をそろえる、食器を並べるなど）、自分自身が家族のために役立っているということを実感出来るような生活の仕方を提案していく。 集団生活の中で幼児が経験していることや学んでいること、育ってきたこと、また家庭の中で変わってきたことなどを伝え合い、子どもの成長を共に喜び合っていく。

3歳児 1期 (4月～5月中旬)

ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境に慣れ、気に入った遊具や場で遊ぶことを楽しむ。 ・清潔で安全な環境の中で、安心して過ごす。 ・身の回りのことや自分でできそうなことを保育者と一緒に行いながら、園生活の仕方を知る。 		
学 び の 芽 生 え	<p>新入児に経験させたい内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気に入った場所や遊具を見つけて遊ぶ。 ・身近な春の自然に目を向けたり触れたりし、楽しさを感じる。 ・保育者や知っている友達と挨拶をする。 ・遊びに必要な言葉があることを知り、保育者と一緒に言ってみようとする。 ・保育者が行う手遊びや歌、リズム遊びなどを喜び、まねして一緒に行おうとする。 ・身近な素材や用具に触れ、自由に描いたり、作ったりして遊ぶ。 	<p>進級児に経験させたい内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境の中で自分の好きな遊びを楽しむ。 ・身近な春の自然に目を向け、見たり触れたりして遊ぶ。 ・遊びや生活に必要な言葉を使い、やりとりをする。 ・したいこと、してほしいことを保育者や友達に言葉で伝える。 ・みんなと一緒に歌ったり、手遊びやリズム遊びをしたりして楽しく遊ぶ。 ・身近な素材や用具を使い、自由に描いたり、作ったりして遊ぶ。 	
	人 と の か か わ り	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と同じ場で遊ぶ。 ・みんなで一緒に絵本を見たり、誕生会などの集会に参加したりする。 ・保育者との触れ合いを通して、安心して遊んだり、生活したりする。 ・保育者に甘えたり、泣きたい時は泣いたりする。 ・みんなで気持ち良く過ごすために、必要な約束があることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達とかかわりながら、気に入った場所や遊具で遊ぶ。 ・誕生会やこどもの日の集いなどに参加する。 ・安心出来る環境の中で、生活したり、遊んだりする。 ・みんなで過ごすために必要な知っている約束を守ろうとする。
	基 礎 生 活 す る 力	<ul style="list-style-type: none"> ・園での生活の仕方や1日の生活の流れが分かる。 ・所持品の始末や身支度を保育者と一緒に行ったり、保育者の声かけでトイレに行ったりする。 ・園での手洗い、うがいの仕方、トイレの使い方が分かる。 ・園での食事の準備や片付けの仕方を知り、自分でやってみようとする。 ・みんなと一緒に食事をすることを楽しむ。 ・園で午睡時(一定の時間)安心して眠る。 ・保育者と一緒に戸外で体を動かして遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境での生活の仕方や流れが分かり、出来る事は自分でする。 ・1日の園生活の流れが分かる。 ・幼児用トイレの使い方が分かる。 ・自分で手洗い、うがいをする。 ・保育者や友達と楽しく食事をする。 ・食事に伴う習慣(フォーク、箸の持ち方、食前後の手洗い、うがい)を意識して行おうとする。 ・午睡の時間には安心して眠る。 ・保育者と一緒に追いかけてっこや固定遊具で、体を動かして遊ぶことを楽しむ。

ね ら い	2期 (5月中旬～8月)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの環境や様々な活動に興味や関心を持ち、かかわって遊ぼうとする。 ・同じ場にいる友達や保育者に親しみを持ち、かかわることを楽しむ。 ・園での過ごし方がわかり、身の回りのことや自分で出来ることを行おうとする。 	
学 び の 芽 生 え	経験させたい内容	
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のしたい遊びを心ゆくまで楽しむ。 ・虫や草花に触れたり、砂や水を使って遊んだりし、面白さや不思議さを感じる。 ・遊びに必要な言葉を使ったり、友達の言葉を聞いたりする。 ・困ったことや分からないことを、表情や動き、言葉で表そうとする。 ・全身で素材の感触を味わって遊ぶ。 ・身近な素材や用具を使い、自由に描いたり、作ったりして遊ぶ。 ・保育者の行う手遊びやリズム遊びに興味を持ち、一緒に行ったり、絵本や紙芝居を喜んで見たりする。 	
	き る か か わ り	人 と の か か わ り
基 礎	生 活 す る 力	<ul style="list-style-type: none"> ・所持品の始末や身支度の仕方、トイレの使い方などがわかり、自分でしようとする。 ・汚れたり、濡れたり汗をかいたら気持ち悪いと感じ、自分で着替えようとする。 ・食事の準備や片付けの仕方がわかり、出来ることを自分でやってみる。 ・楽しく食事をする。 ・午睡の時間には安心して眠る。 ・戸外で遊ぶことを喜び、保育者と一緒に走ったり、気に入った遊具で遊んだりする。 ・みんなと一緒に体を動かす楽しさを味わう。 ・保育者や友達と水遊びやプール遊びを楽しむ。 ・プール遊びの身支度や後始末を保育者に手伝ってもらいながら自分でしようとする。

ね ら い	3期 (9月～10月中旬)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達をしている遊びに興味を持ち、自分から遊ぼうとする。 ・友達と一緒に遊ぶ中で、約束や決まりがあることを知る。 ・身の回りの環境や様々な活動に興味、関心を持ち、かかわって遊ぼうとする。 	
学 び の 芽 生 え	経験させたい内容	
	<ul style="list-style-type: none"> ・興味を持った遊びを繰り返し楽しむ。 ・秋の虫や木の実など自然物に興味、関心を持ち触ったり集めたりして遊ぶ。 ・自分の思ったことや感じたことを言葉にし、保育者や友達と言葉を通して気持ちがつながるうれしさを味わう。 ・新しい素材に興味を持ち、自由に描いたり、作ったりして遊ぶ。 ・季節の歌を歌ったり、リズムのある言葉を言ったりして楽しむ。 ・絵本や紙芝居を見てイメージをふくらませる。 ・保育者や友達と一緒に音楽に合わせて体を動かしたり、動きをまねたりして楽しむ。 	
き る か か わ り	人 と の か か わ り	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを自分なりの方法で相手に伝えようとしたり、相手の思いを感じたりする。 ・同じ場にいる友達や保育者にかかわって遊ぶ楽しさや、一緒にいる心地良さを感じる。 ・友達や異年齢児の遊びに関心を持ち、仲間に入ったり、一緒に動いたりする。 ・園の行事に参加してみようとする。 ・自分のしたいことをしながら安心して遊んだり、一緒にいたい友達に自分から関わったりする。 ・簡単なルールが分かり、みんなで一緒に遊ぶ。
	基 礎	生 活 す る 力

4期 (10月中旬～12月下旬)

ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな遊びをしたり、面白そうなことをしている友達とかかわったりしながら、興味・関心を広げて遊びを楽しむ。 ・みんなと一緒に活動する中で、保育者や周りの友達の動きを見ながら、自分なりに動く楽しさを感じる。 ・園生活に必要なことを感じ取り、自分に出来ることを自分で行う。
-------------	---

経験させたい内容

学 び の 芽 生 え	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな遊びに集中して取り組み、試したり工夫したりして遊ぶ。 ・新しい環境に興味を持ち、自分から関わろうとする。 ・秋の自然物に触れて遊び、色、形、多い、少ないなどの違いに気付く。 ・遊びの中で友達と言葉のやり取りを楽しむ。 ・好きな絵本や紙芝居を何度も読んでもらったり、見たりして楽しむ。 ・楽器を自由に鳴らしたり、音色を聞いたり、声をそろえて歌ったりする楽しさを感じる。 ・様々な素材を使い、感じたことを自分なりに表現しようとする。
----------------------------	--

人 と の か か わ り	<ul style="list-style-type: none"> ・気の合った友達と同じことがしたくなる気持ちを高める。 ・自分のしたい遊びを見つけて繰り返し行う。 ・保育者や友達と同じ遊びを楽しんで行う。 ・友達と一緒に片付けたり、自分で出来る事や手伝いをする。 ・自分の気持ちや困っていることなどを自分なりの言葉で伝えようとする。 ・行事を通して異年齢の友達と触れ合い、楽しさを感じたり、年中児・年長児に対するあこがれの気持ちを持つ。 ・保育者や友達と一緒に簡単なルールのある遊びをする。
---------------------------------	---

生 活 す る 力	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、うがいの大切さを知り、自分でしようとする。 ・楽しく食事をする。 ・箸を使って食事をしようとする。 ・一定時間の睡眠をとる大切さが分かる。 ・用具や遊具の安全な使い方を知り、気を付けて使おうとする。 ・走る、踊る、鬼ごっこをするなど、みんなと一緒に身体を動かすことを楽しむ。 ・自分の気に入った遊具や用具を使って運動遊びを楽しむ。
-----------------------	--

5期 (1月～3月)

ね
ら
い

- ・自分の思いを出して、好きな遊びを十分に楽しむ。
- ・保育者やクラスの友達と一緒に動く楽しさを感じ、リズム遊びや表現遊びを楽しむ。
- ・みんなで気持ち良く過ごすために園生活に必要なことが分かり、自分から行おうとする。

経験させたい内容

学
び
の
芽
生
え

- ・遊びを通して興味・関心を広げ、楽しかったことを取り入れて遊ぶ。
- ・冬から春の自然に触れ、冷たさや寒さ、温かさ、春の訪れなどを体で感じる。
- ・思ったことを友達に言ったり、相手から聞かれたことに応じて答えたりする。
- ・保育者や友達と簡単なクイズや反対言葉などを楽しむ。
- ・絵本やお話のイメージを持ち、なりたいものになって自分なりの表現を楽しむ。
- ・みんなと一緒に歌ったり、楽器を鳴らしたりすることを楽しむ。
- ・リズム遊びや表現遊びに喜んで参加し、自分なりに表現しようとする。
- ・様々な素材や材料を使い、試したり工夫したり見立てたり、して楽しむ。

き
る
か
か
わ
り

人
と
の
か
か
わ
り

- ・相手の動きや保育者の話などから、相手にも思いがあることに気付く。
- ・保育者や友達のしている遊びに興味を持ち、かかわって遊ぶ。
- ・友達と声や動きを合わせてみる。
- ・友達と同じ場で遊ぶ中で、思っていることやしたいことなどを言葉や動きで表す。
- ・保育者に励まされながら様々なことに取り組む。
- ・みんなで気持ち良く、安全に過ごすための簡単な決まりが分かり、守ろうとする。
- ・遊具や用具を安全に使おうとする。
- ・年中児・年長児の姿にあこがれの気持ちを持ち、まねようとしたり、一緒に遊ぼうとする。

基
礎
す
る
力

生
活
す
る
力

- ・冬の生活の仕方を知り、自分からやってみようとする。
- ・身の回りの物の整理や遊びの片付けなど、自分のことを自分でしようとする。
- ・進級を楽しみにし、自分で出来ることを増やしていく。
- ・楽しく食事をする。
- ・一定時間の睡眠を取る。
- ・寒さに負けず、戸外で体を動かして元気に遊ぶ。
- ・簡単な集団遊びのルールが分かり、みんなと一緒に体を動かすことを楽しむ。
- ・遊具や用具を安全に使おうとする。

4歳児の発達をめやす

発達の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の環境に強い関心を持ち、身近な自然物、物事、事象と触れ合う中で、友達と一緒に発見したり、工夫しながら遊びを広げる。 ・言葉による表現が進み、友達に自分のイメージを伝えて、一緒に遊びを楽しんでいく。 ・友達とかかわり、遊ぶことの楽しさが分かり、相手の思いや自分の感情に気付いていく。 ・基本的な生活習慣が自分で出来るようになる。 ・決まりや危険なことが分かり、約束を守って行動していく。 ・運動のバランスやコントロールが取れるようになり、ボール投げなど二つの運動をつなげて行う協応動作も上手に行えるようになる。 	
育てたい内容	<p style="text-align: center;">前 期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者の援助を受けながら基本的な生活習慣が身に付いていく。 ・友達や保育者と一緒に体を動かすことが楽しいと感じる。 ・自分の思ったことを言葉で表す。 ・新しい環境に慣れようとし、好きな遊びを見付け、友達と一緒に過ごし、楽しいと感じる。 ・生活に必要な決まりがあることを知り、安心して園生活を送る。 ・自分の思ったことを言葉で伝える。 	<p style="text-align: center;">後 期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単なルールのある遊びを友達や保育者と出来るようになり、遊具、用具などを使って様々な動きのある遊びを楽しむ。 ・自分なりのイメージを持ち、友達や保育者と一緒に動きや言葉などで表現して遊ぶ。 ・生活や遊びなどの場面を通して、相手にも思いがあることを知ったりして良いこと悪いことがわかり、状況を感じて自分なりに行動しようとする。
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの目線に立って遊具などを点検する事で怪我・事故の予防をする。 ・それぞれの子どものペースを大切に、新しい環境に慣れていくようにする。その際、安心して過ごせるような物的、人的環境設定をしていく。 ・子ども同士のつながりを大切に、お互いの思いが伝わるように、言葉を補い、友達の思いを丁寧に伝えていく。 ・いろいろな素材や用具を準備し、使い方や遊び方を知らせていくとともに、楽しさを味わえるような環境設定をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中で「こうしたい」という子どもの思いを受け止め、イメージや目的に合うような素材や材料と一緒に見付けたり、提示したりするなど保育者が積極的に支え、自分たちで遊ぶ楽しさを十分に味わえるようにする。 ・子ども同士で思いがぶつかる時は、保育者が双方の思いをくみとりながら、相手の思いに気付けるように仲介していく。また、その後の手立てを一緒に考え、心を落ち着かせたり、気持ちを切り替えさせたりして遊べるようにする。 ・年長児の生活の仕方を聞き、当番活動などの引き継ぎをする機会を設け、年長児になることへの期待を持たせていく。
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・園での子どもの様子を丁寧に伝え、信頼関係作りをしていく。 ・一年間の保育方針や活動内容、予想される子どもの姿を具体的に知らせ、園生活での見通しを持てるように努める工夫していく。 ・大人が先に指示をしたりせず、子どもが自分で行おうとしている気持ちを尊重し、温かく見守っていくことで自信や意欲につながっていくことを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の流行期でもあり、体調面には十分気を付け、無理をしないで早めの休養を心掛けるように働きかける。 ・運動会や保育参観など保護者の参加、協力の機会が増えるので、共に子育てをする喜びや保護者同士のつながりを感じられるような内容、方法を工夫する。 ・基本的な生活習慣の完成に向けて、個別に状況を確認し合い、進級に向けて園と家庭で同じタイミングで見直していく。

4歳児 1期 (4月～5月中旬)

ね
ら
い

- ・新しい環境に慣れ、自分なりに遊んだり過ごしたりする。
- ・保育者や新しい友達に親しみを持つ。
- ・新しい環境での生活の仕方を知り、身の回りのことを自分でする。

経験させたい内容

学
び
の
芽
生
え

- ・新しい場や遊具に親しみ、好きな遊びを見つけて安心して遊ぶ。
- ・身近な自然物にかかわり、春の自然に親しみを持つ。
- ・保育者や友達に挨拶をする。
- ・保育者にクラスの友達と一緒に絵本を読んでもらう。
- ・自分の思いや感じたことを態度や言葉で表現する。
- ・保育者の言葉や動き、表情から、意味を感じ取って動こうとする。
- ・友達の動きをまねたり、つもりの動きを楽しんだりする。
- ・保育室にある用具や材料を使って遊ぶ。

き
る
か
か
わ
り

人
と
の
か
か
わ
り

- ・気の合う友達と同じ遊びをする。
- ・友達の動きに関心を持つ。
- ・自分なりに興味を持った遊びをする。
- ・保育者に親しみを感じ、友達と一緒に過ごすことに慣れる。
- ・感じたことや困ったことを表情や態度、言葉で表現したり、保育者に伝えたりする。
- ・園生活には必要な決まりがあることを知る。

基
礎

生
活
す
る
力

- ・新しいクラスや園での生活の仕方、場の使い方を知り、自分なりに動こうとする。
- ・園生活の中で危険なことや場所や物、してはいけないことが分かり、安全に気を付けて生活する。
- ・出来ることは自分なりにやってみようとする。
- ・一日の生活の流れ(遊び、片付ける、食事、集まりなど)が分かる。
- ・友達や保育者と一緒に食事をする。
- ・午睡の時間、一定時間安心して、眠る。
- ・友達や保育者の動きをまね、今まで経験してきた遊びも含めて、体を動かすことを楽しいと感じる。

ね ら い	2期 (5月中旬～8月)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な素材に触れ、興味を持ったり、遊びに取り入れたりする。 ・友達に親しみを感じたり、動きをまねたりして、一緒に過ごす。 ・生活の仕方に慣れ、保育者や友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。 	
学 び の 芽 生 え	経験させたい内容	
	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具や用具の置き場所や使い方を知り、自由に使う。 ・砂や泥、水など自然物の感触を味わう。 ・身近な生き物や、栽培している植物などの生長に興味を示す。 ・自分の思いや感じたこと、困ったことなどを保育者や友達に伝えようとする。 ・保育者や友達の言葉を聞き、受け止めようとする。 ・気に入った絵本を繰り返し見る。 ・身近な素材を使い、作って遊んだりする。 	
き る か か わ り	人 と の か か わ り	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の言葉や動きに気付く。 ・みんなで取り組む遊びや活動に喜んで参加し、友達に親しみを持つ。 ・受け入れてくれる友達に自分の思いや感じたことを伝えようとする。 ・友達と同じものを身に付けたり、一緒に動いたりする。 ・思い通りにはならないこともあることを知り、保育者に受け止めてもらうことで、気持ちを切り替える。 ・安全に過ごすための約束や決まりがあることを知り、守ろうとする。
	基 礎 力	<ul style="list-style-type: none"> ・園生活に必要なことの手順を知り、片付けや身の回りの始末など、自分なりにやってみようとする。 ・出来ることは自分でやろうとする。 ・手洗い、うがいなど、生活に必要なことを自分でしようとする。 ・汗をかいたり、濡れたりしたら、自分で着替えようとする。 ・友達や保育者と一緒に食事をする楽しさを感じる。 ・午睡の時間、安心して眠る。 ・戸外で体を動かして遊ぶ楽しさを感じる。 ・遊びながら用具や遊具の安全な使い方が分かり、やってみようとする。 ・遊びや生活の中で交代や順番があることが分かる。 ・砂遊び、水遊び、プール遊びを通して水に触れることの楽しさを知り、開放感や気持ち良さを感じる。

ね ら い	3期 (9月～10月中旬)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な環境に自分からかかわり、興味や関心を広げていく。 ・友達とかかわりながら、自分の思いや動きを出して遊ぼうとする。 ・安全に気を付け、思いきり体を動かして遊ぶことを楽しむ。 	
学 び の 芽 生 え	経験させたい内容	
	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し遊ぶ中で、自分なりに試したり、工夫したりする。 ・草花など身近な自然に触れ、夏から秋への季節の移り変わりを感じる。 ・保育者や友達に親しみを感じ、思いやイメージを言葉で伝える。 ・保育者に絵本を読んでもらうことを楽しんだり、自分で見たりする。 ・いろいろな素材に触れ、伸び伸びと表現する。 ・友達と一緒に感じたことを表現して遊ぶ。 ・作ったものを使って遊ぶ。 ・遊びの中で、力や速さを比べたり、数を数えたりする。 ・音楽を聞いて体を動かしたり、イメージを持って自分なりに表現したりして遊ぶ。 	
	き る か か わ り	人
基 礎		生活する力 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の身の回りの始末や、使った物の片付けをしようとする。 ・生活に必要なことが分かり、自分からやってみようとする。 ・楽しく食事をする。 ・午睡の時間、安心して眠る。 ・いろいろな体の動きを試しながら、十分に体を動かして遊ぶ。 ・用具や遊具の使い方に慣れ、組み合わせて場を作り、体を動かす遊びをする。 ・友達と一緒に走ったり、音楽に合わせて踊ったりするなど、体を動かして遊ぶ。

4期 (10月中旬～12月下旬)

ね
ら
い

- ・見たことや、感じたことを様々な方法で表現して遊ぶことを楽しむ。
- ・友達とやりとりしながら一緒に遊ぶ楽しさを知る。
- ・体を動かして簡単なルールのある遊びを友達と一緒に繰り返し楽しむ。

経験させたい内容

学
び
の
芽
生
え

- ・遊びや製作に必要な遊具や用具の使い方に慣れ、いろいろな遊びをする。
- ・秋の自然に触れ、見たり、触れたり、聴いたり、匂いを嗅いだりする。
- ・自然物を使った遊びに興味を持ち、集めたり、比べたり、見立てたりして遊ぶ。
- ・保育者や友達との会話を楽しんでする。
- ・絵本やお話などを喜んで見たり、聞いたりして、イメージを広げる。
- ・絵本や歌の中にある面白い言葉に気付いたり、繰り返し言ったりする。
- ・みんなで歌ったり、簡単な楽器を鳴らしたりする楽しさを感じ、喜んで取り組む。
- ・描いたり、作ったりする遊びに興味を持ち、自分なりに表現して遊ぶ。
- ・自分や友達の作品を大切にし、見たり扱ったりする。

き
る
か
か
わ
り

人
と
の
か
か
わ
り

- ・友達の動きに関心を持ち、その動きに合わせてたり、応じたりして動く。
- ・簡単なストーリーや遊びの流れの中で、相手と自分の動きがかかわり合いながら遊びが進む面白さを感じる。
- ・友達とイメージを出し合いながら遊び、つながりを感じる。
- ・自分の思ったことを言葉や動きに表し、受け止めてもらえた喜びを感じる。
- ・共同の遊具や用具を大切にする気持ちを持つ。
- ・ルールのある遊びを通して、みんなで遊ぶ楽しさを味わう。
- ・生活に必要なことや安全に過ごすための約束や決まりが分かり、守ろうとする。

基
礎
す
る
力

生
活
す
る
力

- ・身の回りの物の始末や片付けの仕方が分かり、進んでしようとする。
- ・手洗い、うがいの大切さが分かり、自分で進んで行う。
- ・必要に応じた衣服の調節を自分で行う。
- ・楽しく食事をする。
- ・落ち着いた環境の中で、一定時間、休息を取る。
- ・簡単な当番活動(昼食時の当番など)に興味を持ち、取り組もうとする。
- ・友達と一緒に簡単なルールのある遊びを楽しみ、思い切り体を動かす。

5期 (1月～3月)

ね
ら
い

- ・自分たちで遊びに必要な場やものを作って遊ぶことを楽しむ。
- ・クラスの友達と一緒にいろいろな活動をする中で、つながりを感じて遊びや生活を進める。
- ・基本的な生活習慣を身に付け、生活や遊びの決まりを守り、進級することへの期待や自信を持つ。

経験させたい内容

学
び
の
芽
生
え

- ・遊びに必要なものや場を作り、友達と一緒に遊ぶ。
- ・雪や氷、霜柱など冬の自然に触れ、自然の不思議さや面白さを感じる。
- ・身近な自然に触れ、春の訪れを感じる。
- ・場面に合わせていろいろな言葉を使う。
- ・友達と言葉で伝え合う楽しさを感じる。
- ・絵本や紙芝居、お話などを喜んで聞き、ストーリーの展開を楽しみにする。
- ・年長組に言葉や歌、製作などを通して、感謝の気持ちを伝えようとする。
- ・いろいろな遊びの中で記号や文字、形、数字などに興味を持つ。
- ・劇遊びなどに必要なものを保育者や友達と一緒に作り、作ったものを使って表現して遊ぶ。
- ・自分で材料を選んだり、自分なりに工夫して作ろうとする。
- ・いろいろな遊具を使い、イメージに合った場を自分たちで作ろうとする。

き
る
の
か
か
わ
り

- ・友達の中で自分の思ったことや考えたことを表現し、受け止めてもらえるうれしさを感じる。
- ・一緒に遊ぶ友達と場や必要なものを作り、自分たちで簡単な遊びの流れを作りながら遊ぶ。
- ・クラスのみんなで活動することを楽しみ、つながりを感じたり、満足感を味わったりする。
- ・年長児との交流や当番の引き継ぎなどを通して、年長になることへの期待を持つ。
- ・友達の刺激を受けながら、自分なりの遊び方を工夫し、繰り返し楽しむ。
- ・生活の中でして良いこと、悪いことを自分なりに考え、簡単なルールを守ろうとする。

基
礎
生
活
す
る
力

- ・生活の大まかな見通しが分かり、自分で出来ることは自分でしようとする。
- ・自分の健康に関心を持ち、手洗い、うがいを進んで行う。
- ・必要に応じて自分で衣服の調整をする。
- ・自分の健康に関心を持ち、いろいろな食材を食べようとする。
- ・食事のマナーに関心を持ち、気を付けて食事をする。
- ・落ち着いた環境の中で、一定時間、休息を取る。
- ・行事を通して伝統的な日本の食文化を経験する。
- ・寒さに負けず、戸外で全身を動かして友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- ・自分なりのめあてを持って運動遊び（フープ、縄跳び、固定遊具など）に取り組み、積極的に体を動かして遊ぶ。
- ・卒園式に参加をして年長児の修了を祝い、進級への期待感を高め、自信を持って行動する。

5 歳児の発達のめやす

発 達 の 特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりに判断する力が生まれ、自分と違う思いや考えを認め、社会生活に必要な力を身に付け、行動出来るようになる。 ・生活や遊びに見通しを持ち、友達と相談し、共通の目的や課題に向かって取り組むようになる。 ・時間を意識した生活に見通しを持ち、就学に向けて期待を高めていくようになる。 ・運動機能はますます伸び、全身運動が滑らかで巧みになる。 ・細かい指先の動きが滑らかになり、道具の扱い、操作が出来るようになる。 	
育 て たい 内 容	前 期	後 期
	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣が身に付く。 ・運動機能が発達し、喜んで運動遊びをしたり、仲間と共に活発に遊んだりするようになる。 ・共通のイメージを持って遊んだり、目的に向かって集団で行動したりすることが出来るようになる。 ・言葉で思いや考えを伝えられ、他者の異なる思いや考えも認めたり出来るようになる。 ・自分なりに考えて判断する力が生まれ、トラブルを自分たちで解決しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全身運動が滑らかになり、全力で走り、ダイナミックな動き、細かい手先の動きなど、巧みに活動出来るようになる。 ・ごっこ遊びを発展させた集団遊びが活発になり、遊びの中に役割が生まれ、役割を担うことで、協同しながら遊びを持続し、発展させていくようになる。 ・言葉を使って、文字を書いたり、読んだりすることに興味を持つようになる。 ・友達の主張に耳を傾け、共感したり、意見を言い合ったり、譲ったりしながら、仲間と協調する。 ・友達と共に過ごす喜びを味わい、自分たちで自信を持って園生活を進めていく。
配 慮 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの目線に立って遊具などを点検する事で怪我・事故の予防をする。 ・進級時の高揚・不安など、様々な気持ちを受け止めながら、安心して自己表出が出来るようにしていく。 ・子どもなりの発見や達成感、手ごたえを友達や保育者と共有出来るようにかかわり、一人一人の自信や意欲につなげていく。 ・友達と思いが違った時やみんなで決めごとをする時に、気持の揺れ動きする体験を大切にしながら、乗り越えていく過程を見守り、支えていく。 	
家 庭 と の 連 携	<ul style="list-style-type: none"> ・園での子どもの様子子を積極的に伝え、関係作りをしていく。 ・一年間の保育方針や活動内容、予想される子どもの姿を具体的に知らせ、見通しを持って過ごせるようにする。 ・子どもと一緒に遊ぶ事で、自分の子どもが今どんな動きが出来て、何が出来ないかを知り、かかわり方や生活習慣の見直しにつなげていく。 ・運動会などの取り組みの経過を伝え、子どもなりのがんばりや気持ちの揺れなどを、保護者と共有し、認め支えて行くように働きかけ、子ども一人一人の自信につなげていく。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の流行期でもあり、体調面には十分に気を付け、無理をしないで早めの休養を心掛けるように働きかける。 ・わが子と友達とを比較せず、一人一人の育ちや年齢の育ちについても啓発し、子どもが自信を持って生活していくことの大切さを伝えていく。 ・発表会や卒園式の事前の姿を伝えたり、懇談会で保護者同士が語り合う場所を設けたりしながら、共に成長が喜び合えるようにする。 ・生活面でも入学への準備を親子で進められるように、早寝・早起き・朝ごはんなどの生活リズムを整えることや、通学路の交通ルールと一緒に確認することなど、具体的な取組を家庭にも勧め、伝えていく。 	

5歳児 1期 (4月～5月中旬)

ね
ら
い

- ・新しい環境かかわり、自分なりに目的を持って遊びを楽しむ。
- ・クラスのつながりを感じながら、保育者や友達とのかかわりを楽しむ。
- ・年長になった喜びや自覚を持って生活し、自分の出来ることは自分でしようとする。

経験させたい内容

学
び
の
芽
生
え

- ・新しい環境にかかわり、目的を持って遊ぶ。
- ・新しい場や遊具・用具の使い方を知る。
- ・散歩や園外保育に出かけ、身近な事象に興味を持ったり、地域の人に親しみを持ったりする。
- ・身近な春の自然に触れ、美しさや面白さ、不思議さを感じたり、遊びに取り入れたりする。
- ・保育者の言葉を良く聞き、自分で考えて動こうとする。
- ・友達の言うことを聞いて受け入れたり、自分の思いを相手に分かるように伝えようとする。
- ・友達と思いや考えを出し合って遊ぶ。
- ・進んで保育者や友達に挨拶をしたり、みんなの前で自分のことを話そうとする。
- ・年下の子の気持ちを考えながら世話をしようとする。
- ・聞いていて心地よい言葉やうれしい言葉があることに気付き、自分も使おうとする。
- ・様々な素材や遊具を使い、自分なりに描いたり、作ったりすることを楽しむ。

き
る
の
か
か
わ
り
の

人
と
の
か
か
わ
り

- ・年長児になったことを喜び、友達とのつながりを感じる。
- ・友達の言葉や動きを感じて、行動しようとする。
- ・上手い出来ないことを通して、友達の考えや提案に気付き、受け止めようとする。
- ・身近な友達とのかかわりを深めると共に、年下の子ともとかかわり、思いやりや親しみを持つ。
- ・ルールを理解し、守って遊ぶ楽しさを感じる。
- ・して良いこと、悪いことがあることが分かり考えながら行動する。
- ・共同の遊具や用具を大切にし、自分たちで準備し、譲り合って使う。
- ・生活に必要なことに進んで取り組み、友達と一緒に行動する。

基
礎
生
活
す
る
力

生
活
す
る
力

- ・新しい場での生活の仕方や片付け方を知ったり、一日の生活の流れが分かって行動したりする。
- ・身の回りの物の始末や片付けの必要性が分かり、見通しを持って進んで行く。
- ・うがい、手洗いなどの病気の予防に必要な活動を理解し、必要に応じて自分から行う。
- ・健康と食べ物に関係に関心を持ち、何でも残さずに食べようとする。
- ・一定時間体を休める。
- ・危険な物や場所、遊び方が分かり、状況を判断して安全に気を付けて遊ぶ。
- ・新しい玩具にかかわりながら使い方を知り、安全に使おうとする。
- ・進んで戸外に出て友達と体を動かして遊ぶ心地良さを感じる。
- ・園内外での安全な遊び方や過ごし方が分かり、守ろうとする。
- ・当番の仕方や係の仕事が分かり、先生や友達と一緒に行動する。

ね ら い	2期 (5月中旬～8月)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心を持ったことに自分なりに取り組み、考えたり、試したりする。 ・友達と思いを出し合いながら、一緒に遊んだり、活動したりする中で、つながりを深めていく。 ・生活の流れが分かり、見通しを持って自分たちで遊びや生活を進めていこうとする。 	
学 び の 芽 生 え き る 力 か か わ り 基 礎	経験させたい内容	
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのやりたい遊びを見付け、目的を持って遊ぶ。 ・様々な遊具や用具を使って遊ぶ。 ・春から夏の自然に興味を持ち、良く見たり、触れたり、試したりして遊ぶ。 ・身近に起こる様々な事象に関心を持ち、疑問に思ったことなどを試したり調べたりする。 ・友達の言葉に耳を傾け、相手の思いや考えを受け止める。 ・自分の思いや考えを言葉で友達に伝え、一緒に遊びを進めていこうとする。 ・自分なりのイメージや目的を持ち、集中して遊ぶ。 ・上手くいかないことがあってもあきらめずに取り組もうとする。 ・いろいろな人に自分から挨拶をしようとする。 ・みんなで歌ったり、踊ったり、表現したりすることを楽しみ、互いの表現を認め合う。 ・様々な素材や用具を使い、工夫して表現しようとする。 ・友達と共通の目的を持ち、考えを出し合ったり、力を合わせたりして一緒に作る。 	
	人 と の か か わ り	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と遊びを進めていく中で、イメージが共通になっていく楽しさを感じる。 ・相手に話を聞いてもらい、思いが受け止められたうれしさを感じる。 ・自分とは違う友達の思いや考えを受け入れようとする。 ・分からないことを自分から聞き、解決を図ろうとする。 ・友達と活動する中で相手の特徴や良さに気づき、認めようとする。 ・一人では出来ないことでも友達と一緒に取り組もうとする。 ・高齢者をはじめ地域の方など、自分の生活に関係の深い様々な人に親しみを感じる。 ・生活に必要なことを友達と一緒に進め、自分の役割を果たす。 ・遊びや生活の約束を理解し、守ろうとする。
生 活 す る 力	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の生活の流れを感じ、自分なりに見通しを持って進めていこうとする。 ・食育を通し、食物の大切さを知り、嫌いなものも食べようとする。 ・一定時間、体を休める。 ・自分たちで、使った遊具の出し入れ（片付けを含む）を自分たちで行う。 ・雨の日の気候に応じた交通安全や生活の仕方が分かる。 ・プール遊びの手順や約束を思い出し、安全な遊び方をする。 ・一学期が終わることが分かり、自分たちの使った遊具や生活の場を整え、気持ち良く二学期を迎える準備をする。 	

ね ら い	3期 (9月～10月中旬)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と思ったこと、考えたことを出し合いながら、共通の目的を持って遊びを進めていく。 ・グループやクラスの活動を通して自分の力を発揮し、仲間としての意識や気持ちの高まりを感じる。 ・生活リズムを見通しながら、必要なことに自分たちで気づき、進めていこうとする。 	
学 び の 芽 生 え	経験させたい内容	
	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に考えやイメージを出し合い、目的を共通にしていく。 ・秋の自然に興味を持ってかかわり、良く見たり、比べたり、試したりする。 ・物の性質やしぐみについて考えたり、気付いたりし、遊びに生かしていく。 ・クラスや学年の目的や課題を自分のこととして受け止め、考えを出し合って取り組んでいく。 ・友達と共通の目的を持ち、話し合いながら遊びを進めていく。 ・目的に向かって見通しを持って取り組む中で、自分の力を発揮していく。 ・負けてもあきらめずにがんばろうとする。 ・様々な音楽に親しみ、友達と一緒に歌ったり、楽器の音色の美しさやリズムの楽しさを味わう。 ・絵本や童話に親しみ、イメージを豊かにしていく。 	
	人 と の か か わ り	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と相談しながら自分たちで、遊びを進めていく。 ・友達との考えの違いやうまくいかない経験を通じて、友達と折り合いを付けていく。 ・クラスの友達と取り組む中で、気持ちや動きを合わせていく心地良さを味わい、つながりを深めていく。 ・異年齢交流を通し、相手の話を相手の立場に立って聞こうとする。 ・自分なりの目的を持って繰り返し挑戦したり、様々な人に認められたりすることを通して自信を持つ。 ・小学生との交流を通して小学校生活に期待や関心を持つ。
基 礎	生 活 す る 力	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に見通しを持ち、必要なことに気づき、進んで取り組もうとする。 ・生活の中で必要な仕事の内容が分かり、友達と声を掛け合って進めていこうとする。 ・健康な生活、食事の大切さを知り、自分の体への関心を持つ。 ・一定時間、体を休める。 ・様々な運動遊びに進んで取り組み、体を十分に動かして遊ぶ心地良さを味わう。 ・ルールのある遊びを通して、チームで競い合うことを繰り返し楽しむ。 ・自分なりの目的を持ち、繰り返し取り組もうとする。 ・グループの友達で誘い合い、分担しながら当番活動を進めていこうとする。

ね ら い	4期 (10月中旬～12月下旬)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と思ったこと、考えたことを出し合いながら、共通の目的を持って遊びを進めていく。 ・自分の力を発揮し、友達と力を合わせてやり遂げる満足感を味わう。 ・生活の流れに見通しを持ち、時間を意識して行動する。 	
学 び の 芽 生 え 生 き 人 と の 力 か か わ り 基 礎	経験させたい内容	
	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しかった経験を遊びに生かし、友達と一緒に目的やイメージを持って遊ぶ。 ・友達と一緒に遊ぶ中で相手の考えを受け入れたり認めたりしていく。 ・秋から冬の自然の変化に気付き、美しさや不思議さを感じたり、遊びに生かしたりする。 ・身近な社会の事象に関心を持ち、遊びに取り入れていく。 ・園内外のいろいろな人に親しみを持ち、話している人に気持ちを向けて話を聞く。 ・遊びの中で数を数えたり、文字に触れたりすることを通して、数量や形、文字に興味を持ち、必要感を持って遊びに使う。 ・様々な体験を通してイメージを豊かにし、言葉や音や体で表現することを楽しむ。 ・絵本や童話の世界に入り、イメージをふくらませたり、自分たちもなりきって表現したりして遊ぶ。 ・友達と声をそろえて歌ったり、気持ちを合わせて楽器を演奏したりする。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と考えを出し合って遊び方を工夫することで、遊びがより楽しくなることを味わう。 ・友達の得意な面や良さを認めながら、一緒に遊ぶ。 ・友達と一緒に活動する中で共通の目的を見出し、協力しながら問題や課題を乗り越えようとする。 ・クラスの友達とつながりを深め、グループで競い合ったり、協力したりする。 ・小学生との交流を通して、小学校生活に期待や関心を持つ。 ・必要に応じて友達と相談しながら、ルールを考えていろいろな遊びに取り組む。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・1日の生活の流れに見通しを持ち、時間を意識して行動したり、自分で出来ることを進んでしたり、友達と声を掛け合って行動したりする。 ・食物の必要性を理解して、いろいろな食材を食べてみる。 ・一定時間、体を休める。 ・遊びのルールを確かめたり、工夫したりして、友達と一緒に集団遊びを楽しむ。 ・新しいことに挑戦する意欲を持ち、繰り返し取り組もうとする。 ・当番活動に自分から進んで取り組み、友達と協力して進めていく。 ・二学期が終わることを知り、使ったものをきれいにしながら新年を迎える気持ちを持てるようにする。 		

ね ら い	5期 (1月～3月)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し挑戦して取り組む中で、目的や課題を達成し、意欲を持つ。 ・友達と共に過ごす喜びを味わい、自分たちで自信を持って園生活を進めていく。 ・小学校の体験・交流を通して就学への期待を持つ。 	
学 び の 芽 生 え き る 力 か か わ り の 基 礎	経験させたい内容	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスや年齢なりの課題に向かって自分の力を発揮し、これまでの経験を生かして取り組む。 ・友達と協力したり、役割を分担して取り組み、互いの良さや成長を認め合う。 ・自分たちで見通しを持って遊びや生活を進め、やり遂げる満足感を味わう。 ・冬から春の自然の変化に気付き、不思議さや面白さを感じたり、興味を持って調べたり、予想したり、試したりする。 ・遊びや生活の中で、相手に分かるように、話し方や言葉を考え、伝えようとする。 ・みんなで声をそろえて話したり、気持ちをこめて話したりする。 ・困ったことがあれば自分で尋ねたり、集中して人の話を聞こうとしたりする。 ・素話や継続性のある物語を楽しみにし、喜んで聞く。 ・日常生活に必要な数量、形、文字、標識などに興味・関心を持ち、遊びや生活の中で使っていく。 ・クラスや学年の友達全員で気持ちを合わせて歌ったり演奏したりする。 ・様々な素材や用具を使い、自分のイメージを工夫して表現する。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感じたことや考えたことを友達に分かるように伝え、友達の話も聞いて受け止めていく。 ・友達的心情に気付き、お互いを生かし合って遊ぼうとする。 ・クラスとしてのつながり、充実感、達成感を味わう。 ・繰り返し挑戦し、達成したり、様々な人に認められたりすることを通じて自信を持つ。 ・小学生との交流を通して小学校生活に期待や関心を持つ。 ・見通しを持って園生活を進める。 ・園生活を振り返り、自分に多くの人がかかわってくれたことを知り、感謝の気持ちを持つ。 ・年下の子どもへのかかわり方を自分なりに考えたり、自分の知っている事を教えたりする。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・時間を意識しながら生活に見通しを持ち、今、何をすべきか、自分なりに判断し、状況に応じた行動をしようとする。 ・身の回りの整理や片付けの必要性が分かり、協力して進んで行く。 ・自分の決めた目標に向かって繰り返し挑戦する。 ・安全な遊び方や場所が分かり、自分で判断して安全に行動しようとする。 ・1日の生活や就学までの見通しが分かり、自信を持って取り組むことが出来るようにする。 ・就学を意識して朝、帰りの集まり時に一定時間椅子に座って話を聞くようにする。 ・卒園に向けた活動の中で、園生活が終わることを感じたり、小学校生活への意識を高めたり、期待を持ったりする。 		

文京区版幼児教育・保育カリキュラム策定委員会 名簿

平成27年4月1日現在

役 職	氏 名	所属等
学識経験者	師 岡 章	白梅学園大学教授
学識経験者	高 櫻 綾 子	日本女子大学講師
幼 稚 園 長	高 圓 元 美	小日向台町幼稚園
幼 稚 園 長	田 村 秀 子	千駄木幼稚園
幼 稚 園 長	御手洗 竹 代	柳町幼稚園
保 育 園 長	鈴 木 八 重 子	千石保育園
保 育 園 長	瀧 澤 真 美	本駒込保育園
保 育 園 長	飛 田 野 美 幸	柳町保育園
事 務 局	植 村 洋 司	教育指導課長
事 務 局	前 田 元 松 下 由 紀 子	教育指導課統括指導主事 教育指導課指導主事
事 務 局	新 名 幸 男	保育課長
事 務 局	小 菅 葉 子	保育課保育係長

第1回策定委員会

平成27年6月10日(水)午後4時から6時 於シビックセンター16階職員研修室

第2回策定委員会

平成27年8月24日(月)午後4時から6時 於シビックセンター5階会議室B

第3回策定委員会

平成27年10月30日(金)午後4時から6時 於シビックセンター5階会議室D

* 参考・引用文献

厚生労働省「保育所保育指針解説書」フレーベル館. 2008

文部科学省「幼稚園教育要領解説書」フレーベル館. 2008

東京都教育委員会「就学前教育カリキュラム」東京都教育庁指導部義務教育特別支援教育指導課.
2013

師岡 章「保育カリキュラム総論」同文書院. 2015

文京区版 幼児教育・保育カリキュラム

発 行 平成28年2月
文京区男女協働子育て支援部保育課
教育推進部教育指導課
〒112-8555 文京区春日一丁目16番21号
03-5803-1189(保育課ダイヤルイン)
印刷物番号 D0115048

